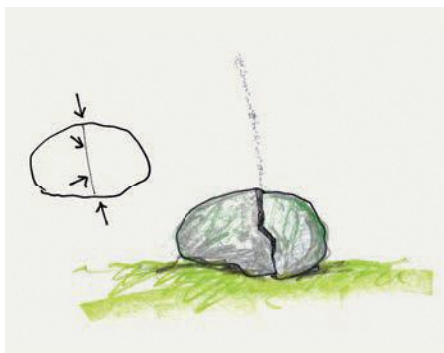
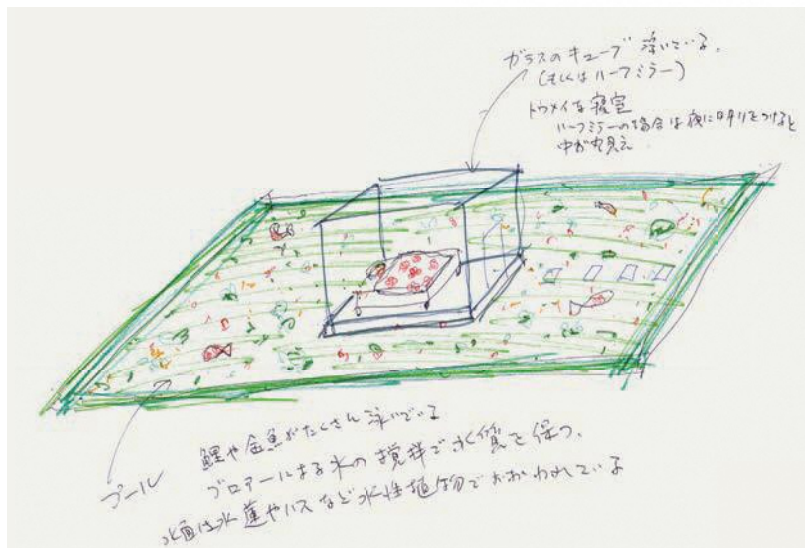


柳幸典



アイデアスケッチ 作家蔵



アイデアスケッチ 作家蔵

YANAGI Yukinori

Tsunagi Project

2019 2020 2021

つなぎ美術館開館20周年記念

柳幸典つなぎプロジェクト成果展2020

YANAGI Yukinori Tsunagi Project -Works in Progress 2020-

Monologue and Dialogue 2020.9.19土 — 11.23月・祝

津奈木

津奈木町のアートによる町づくりは、水俣病からの地域再生を目指し、1984年の「緑と彫刻のある町づくり」に始まりました。その活動拠点として2001年に開館したのがつなぎ美術館です。「柳幸典つなぎプロジェクト」は2008年から続く「住民参画型アートプロジェクト」の一環として、2021年のつなぎ美術館開館20周年を記念し、2019年から3年かけて取り組むプロジェクトです。柳幸典は、現代社会がはらむ諸問題にユーモアを交えながらも正面から向き合う作品をつくり続けるアーティストとして、世界中で高い評価を得ています。「柳幸典つなぎプロジェクト」の2年目の成果展となる本展では、モノログ（独白）とダイアログ（対話）によって生み出される柳幸典ならではの地域の未来像を展示します。また、関連プログラムの開幕記念トークセッションでは近年、関心が高まっている公共空間における裸像をめぐる問題を柳幸典が2名のゲストとともに論じます。

関連プログラム

開幕記念トークセッション「男と女とハダカとアート」

日 時：9月20日（日）14:00～15:30

ゲスト：柳 幸典（現代美術家）

社会問題に対するメッセージを有した作品は世界中で高い評価を得ており、ヴェネチア・ビエンナーレをはじめ多くの国際展に招待されてきた。ニューヨーク近代美術館やテート・ギャラリーなど世界の名だたる美術館に作品が収蔵されている。

木下 直之（美術史研究者／静岡県立美術館館長）

文化資源学の視点で歴史や民俗の研究を続けるなかで、男性裸像の股間の表現をめぐる問題を論じている。同問題を取り上げた主な著書に『股間若衆』（新潮社、2012年）、『せいきの大問題 新股間若衆』（新潮社、2017年）などがある。

小田原 のどか（彫刻家／彫刻研究者）

裸婦像をはじめ公共空間における彫刻やモニュメントがはらむ問題を作品や文章で批評的に扱っている。裸婦像の問題を取り上げた編著に『彫刻 sculpture1:空白の時代、戦時の彫刻／この国の彫刻のはじまりへ』（トボフィル、2018年）がある。

モデレーター：楠本智郎（つなぎ美術館学芸員）

会 場：つなぎ文化センター（つなぎ美術館向かい側）

定 員：50名（申込不要・当日先着順）

参加費：無料

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため延期・中止・動画配信となる場合があります。

宮崎 静夫展 2020.9.5土 — 11.23月・祝

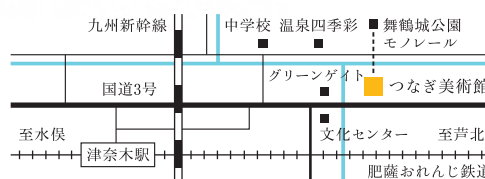
死者のために

会 場 3階展示室

観覧料 無料

主 催 つなぎ美術館（津奈木町）

熊本出身の画家、宮崎静夫がシベリア抑留体験をもとに描いたシリーズ「死者のために」。本年あらたに収蔵した作品と既存の収蔵作品を併せて展示します。



肥薩おれんじ鉄道／津奈木駅から徒歩10分
南九州西回り自動車道／津奈木ICから車で3分
JR九州新幹線／新水俣駅から車で10分
※運行状況・道路状況は事前にお調べください。



つなぎ美術館

TSUNAGI ART MUSEUM

〒869-5603 熊本県葦北郡津奈木町岩城494 TEL: 0966-61-2222 FAX: 0966-61-2223 <http://www.town.tsunagi.lg.jp/Museum/>